

# 環境保全型農業直接支払交付金の概要

農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るために、農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を支援します。

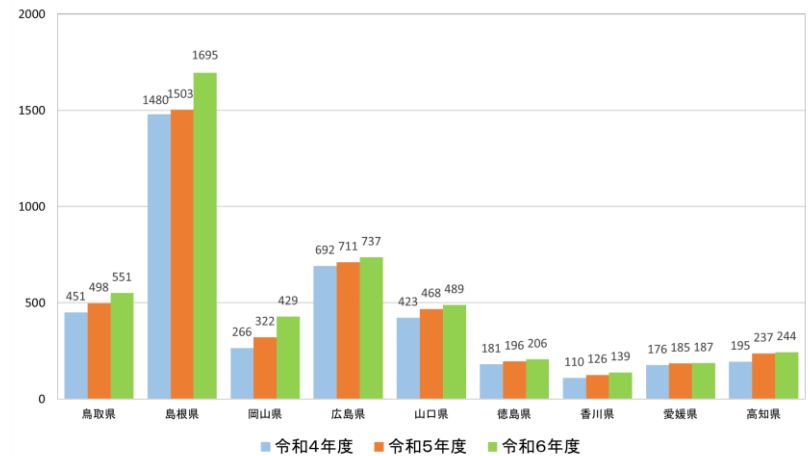
- 1 対象者：農業者の組織する団体、一定の条件を満たす農業者等
- 2 支援の対象となる農業者の要件
  - (1) 主作物について販売することを目的に生産を行っていること
  - (2) 持続可能な農業生産に係る取組を実施すること
  - (3) 環境保全型農業の取組を広げる活動（環境負荷低減に資する活動）に取り組むこと
- 3 支援対象活動
 

化学肥料、化学合成農薬を原則 5 割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動

○対象の営農活動

有機農業（「国際水準の有機農業」（有機JAS規格）の水準に合致していることが確認される取組）、堆肥の施用、緑肥の作付け、総合防除、炭の投入、地域特認取組（地域の環境や農業の実態等を勘案した上で、都道府県が申請を行い、地域を限定して支援の対象とする取組）

(ha) 県別取組面積の推移



有機農業



堆肥の施用



緑肥の作付け



炭の投入

# 中国四国地域における環境保全型農業直接支払の取組事例

## 農事組合法人 橋波アグリサンシャイン（島根県出雲市）

～中山間地農業の活性化を目指して～

### 1. 組織概要

#### (1) 環境直接支払取組概要

【取組内容】 5割低減と堆肥の施用、5割低減と緑肥作付、有機農業の取組

【取組面積】 2,311 a（R6年度）

【対象作物】 水稻、飼料用イネ、エゴマ、ほうれんそう、そば

#### (2) 構成員数 農事組合法人（組合員20名）

#### (3) 環境直接支払取組開始年 平成27年度

#### (4) 化学肥料・農薬低減割合

【堆肥の施用】 化学肥料7割減、化学合成農薬6割減

【緑肥の作付】 化学肥料5割減、化学合成農薬6割減

【有機農業】 化学肥料10割減、化学合成農薬10割減



橋波地域の景観



棚田での田植えの風景



WCS収穫（飼料用イネ）



ドローンの活用

### 2. 取組概要

農事組合法人橋波アグリサンシャインは、水稻ほか、飼料用イネ、そば等を栽培しているが、経営の多角化を目指して、平成28年からビニールハウスと選果場を整備し、ほうれんそう栽培にも着手。法人が手がける約8割の農地で環境保全型農業直接支払交付金に取り組み、水稻の有機栽培を試みるなど環境保全型農業に意欲的に取り組んでいる。

また、出雲市佐田町内8つの集落組織で飼料用イネの栽培と収穫作業に取り組んでいる。飼料用イネは、町内畜産農家へ供給するとともに堆肥を仕入れ栽培に活用するなど、耕畜連携の環境保全型農業に取り組む。有機米栽培では出雲市内の保育園と直接契約を結び、近隣の水稻の有機栽培農業者とグループをつくり、年間を通じた出荷を行うとともに全国生協組織への出荷を進めている。

中山間地におけるスマート農業を推進するため、ドローンによる除草剤散布や病害虫薬剤の散布を行うほか、水稻直播播種もスタートしたところである。夏場の畦畔や法面の草刈りのハード的な作業を軽減するため、ラジコン草刈機とアーム式草刈り機を駆使して営農活動の省力化に繋げている。

## 中予有機農業研究会（愛媛県松前町、松山市、伊予市）

～地域連携による資源循環型農業に向けた取組～

### 1. 組織概要

#### (1) 環境直接支払取組概要

【取組内容】 有機農業の取組

【取組面積】 5,113 a（R6年度）

（松前町3,059a、松山市1,774a、伊予市280a）

【対象作物】 水稻、野菜、果樹

#### (2) 構成員数（うち取組農業者数） 会員2名（2名）

#### (3) 環境直接支払取組開始年 平成27年度

#### (4) 化学肥料・農薬低減割合

【有機農業】 化学肥料10割減、化学合成農薬10割減



紙マルチ田植え



剪定枝を活用した堆肥



小学生の農業体験

### 2. 取組概要

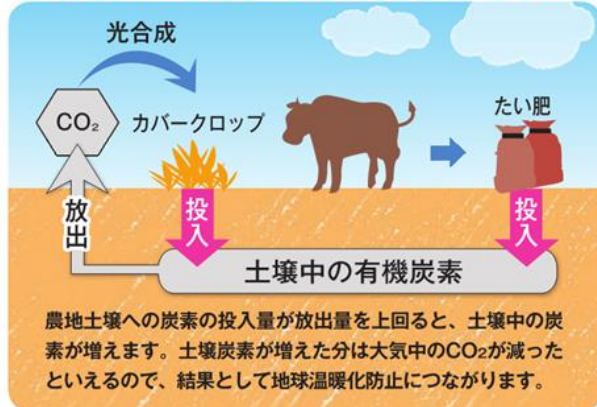
中予有機農業研究会は、主に水稻で有機農業を行っている「(有)あぐり」と野菜と果樹の有機農業を行っている「(有)てんぼ印」で構成される組織で、以前から各自で有機農業に取り組んでいたが、農業の多面的機能の発揮の促進を図るため平成27年に研究会を設立した。緑肥作物、有機微生物を活用した土づくりや紙マルチ、生分解性マルチで雑草抑制する等様々な技術を用いて有機農業を実践している。地域と連携し、食品廃棄物を活用した有機質肥料の製造、木質廃棄物（剪定枝）と豚糞から堆肥を製造するなど地域循環型の農業に取り組んでいる。

同研究会では、保育園児・幼稚園児を対象とした農業体験、小学生を対象とした環境学習や給食の食材説明、中学・高校生を対象とした農業の体験学習を行う等、資源循環型農業への理解促進活動を実施。また、大学と連携して、最新の技術の取得や知識の向上にも尽力している。

## 地球温暖化防止の取組と効果

堆肥を使ったり、カバークロープを栽培して土づくりを行うことや、有機農業を行うことは、一般的な農法と比べて農地の土壌に有機炭素がより多くたまり、地球温暖化防止に効果があります。

### 農地に炭素がたまるってどういうこと？



### 地球温暖化防止効果の調査結果

取組の名称	単位当たり温室効果ガス削減量※ (tCO <sub>2</sub> /ha/年)
有機農業	0.93
カバークロープ	1.77
堆肥の施用	2.26
リビングマルチ	1.02
不耕起播種	1.00

※有機農業やカバークロープ、堆肥の施用に取り組んだ場合と、一般的な管理（化学肥料の使用）を行った場合とで、温室効果ガス排出量を比較（引き算）した数値。

### 地球温暖化防止に効果のある取組



#### ●カバークロープ

稲を収穫した後にレンゲなどそれ自体は収穫対象とはならない作物を栽培し、土壌にすき込むことで有機物を供給する取組。緑肥ともいいます。



#### ●リビングマルチ

主作物の畝間にムギ類や牧草等の緑肥を作付けする取組。地面を被覆することで雑草の繁茂を抑制する効果もあります。



#### ●たい肥の施用

牛ふん、わら、もみがら等の有機物を積み上げ、微生物の力で発酵させたもの。土壌にすき込むことで有機物を供給することができます。



#### ●不耕起播種

耕起による土壌の物理的攪乱を軽減し、土壌中の有機物の分解が抑制されることで土壌中の炭素貯留量が増加します。

## 生物多様性の保全の取組と効果

科学肥料や農薬を使用しない「有機農業」や、冬期に水田に水を張る「冬期湛水」等によってさまざまな生きものが育つ環境をつくります。



### 生物多様性保全効果に関する調査結果



取組を行った農地の83%で

**S・A**  
評価

※評価内容  
**S**：生物多様性が非常に高い。取組を継続するのが望ましい。  
**A**：生物多様性が高い。取組を継続するのが望ましい。  
**B**：生物多様性がやや低い。取組の改善が必要。  
**C**：生物多様性が低い。取組の改善が必要。

### 生物多様性保全に効果のある取組



#### ●有機農業

化学肥料や農薬を使用しないことを基本として、環境への負担をできる限り低減した方法で行われる農業です。



#### ●冬期湛水管理

冬の一定期間に、水田に水を張って鳥類その他の湿地性生物の生息環境を確保することにより、水田地帯の多様な生物を育みます。



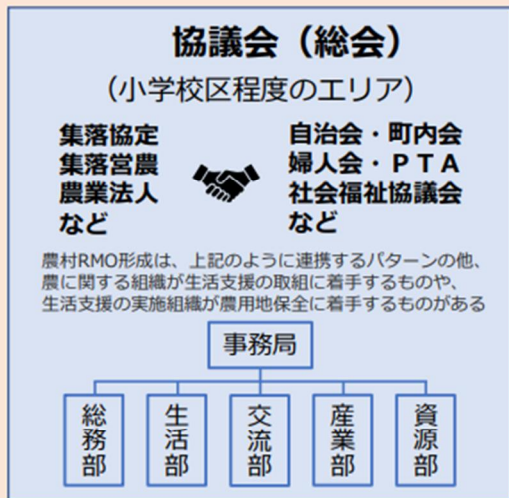
#### ●土着天敵の温存利用技術

ほ場内に定着した土着の天敵類を、次作の栽培初期から安定的に利用できるよう栽培終了後に育苗ハウスや遊休ハウスに移して温存する技術です。（写真は土着天敵タバコスカシカメ）

# 中山間地域の保全に向けた農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ

- 中山間地域等では、高齢化・人口減少の進行により、農業生産活動のみならず、地域資源（農地・水路等）の保全や生活環境（買い物・子育て等）など、集落維持に必要な取組を行う機能が弱体化。
- このため、地域コミュニティ機能の維持・強化に向けて、集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者が連携して協議会を設立し、農用地保全や生活支援等を実施。

## 農村型地域運営組織（農村RMO）※1



地域住民の共通認識

### 実行機能

### 事業の実施



「農村空間を管理」し、農産物供給、景観、レクリエーション等「地域資源」を活用、さらに交流や居住等「生活」の空間として活用。

### ※1 農村型地域運営組織（農村RMO : Region Management Organization）

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。

農村型地域運営組織（農村RMO）は、地域運営組織（RMO）※2の一形態と整理。農林水産省では、令和4年度に「農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業」を創設し取組を推進。

### ※2 地域運営組織（RMO）

地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。【総務省HPより】

## 管内の農村RMOモデル形成支援事業（一般型）実施地区

(令和7年10月現在)

島根県	雲南市	躍動と安らぎの里づくり鍋山	1
	大田市	池田集落協定運営委員会	2
	浜田市	今福まちづくり委員会	3
	邑南町	□羽地区振興協議会	4

岡山県	津山市	上加茂地区住民自治協議会	5
	美作市	みまさか農村RMO推進協議会	6
	浅口市	三ツ山レモン普及協議会	7

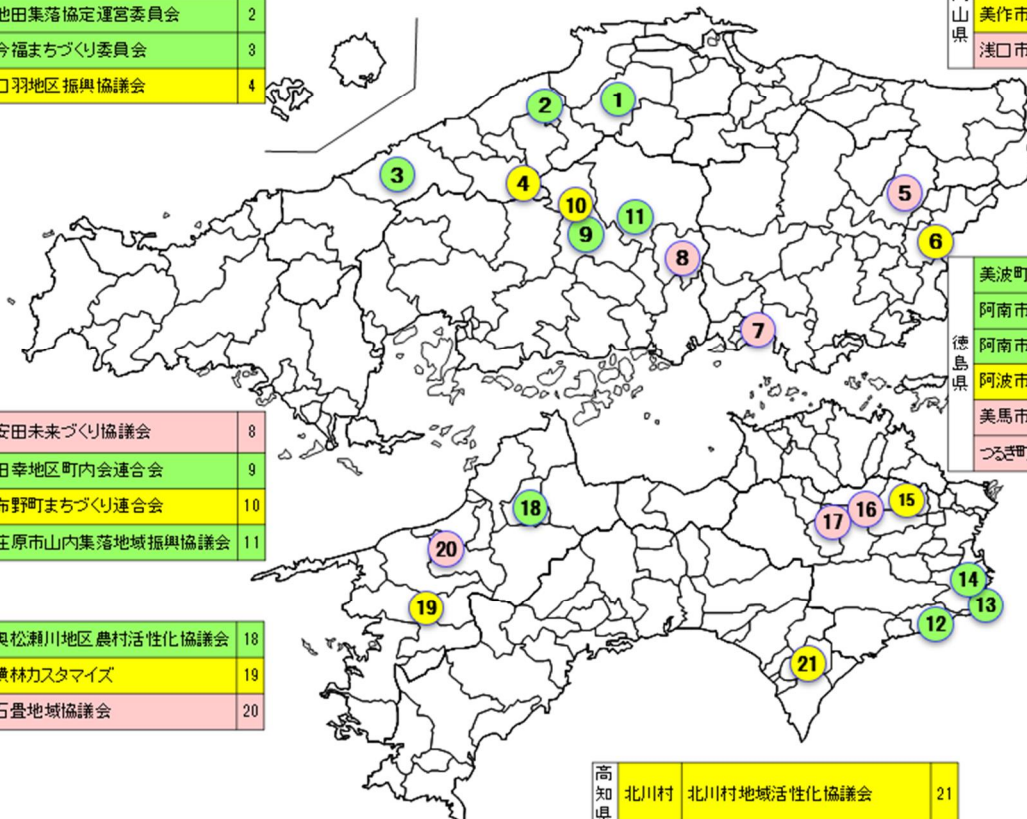
広島県	神石高原町	安田未来づくり協議会	8
	三次市	田幸地区町内会連合会	9
	三次市	布野町まちづくり連合会	10
	庄原市	庄原市山内集落地域振興協議会	11

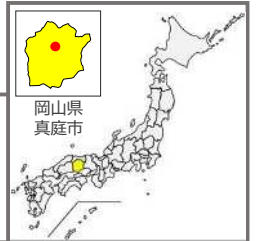
徳島県	美波町	赤松地区農村RMO推進協議会	12
	阿南市	梧町農村RMO運営組織協議会	13
	阿南市	加茂谷RMO推進協議会	14
	阿波市	奥阿波RMO推進協議会	15
	美馬市	Kozato Labo	16
	つるぎ町	端山地域RMO推進協議会	17

愛媛県	東温市	奥松瀬川地区農村活性化協議会	18
	西子市	横林カスタマイズ	19
	内子町	石畳地域協議会	20

高知県	北川村	北川村地域活性化協議会	21
-----	-----	-------------	----

令和5年度採択  
令和6年度採択  
令和7年度採択





農産品、特産品の開発・販売による収益の確保、農用地の拡大によって、自立可能な集落へ。地域の拠点施設をコミュニティの場として維持・発展させ、地元住民の生活意欲向上へ。

#特産品開発、#ブランド化、#交流人口の拡大、#デマンド交通、#スマートストア、#遊休農地対策、#中山間直接支払、#鳥獣害対策

対象地域

- (事務局名) 吉縁起村協議会
(地域の範囲) 真庭市吉(6集落)
(土地面積 (H9.12月時点)) 679ha
(農地面積 (R5.4月時点)) 22ha
(世帯数 (R6.1月時点)) 86戸

構成員

- ・岩坪・林集落協定
・地域おこし隊 吉縁起村
・地域おこし協力隊
・津田コミュニティ交通
・猟友会落合分会津田班
・真庭市落合振興局

活動に関連する他の施策

- ・地域おこし協力隊
・集落支援員
・市町村管理構想・地域管理構想策定推進対策事業
・「デジ活」中山間地域
・中山間地域等直接支払交付金
・過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業

取組内容

現状と課題

- 農用地保全
・獣害(特にサル)対策の強化が不可欠である。
・中山間集落協定に参加していない地域住民管理の農地が多数存在する。
・耕作放棄地再生の順番待ち農地の草刈りを継続する必要がある。

- 地域資源活用
・これまで地域で生産してきた「紅はるか」、「スイオウ」を加工して特産品化する必要がある。
・継続的に利益が上がるよう価格設定や販売方法の検討が必要。
・安定した財源を確保する作物の実証が必要。

- 生活支援
・地元農産品の弁当販売が好調だが、人手不足により大量生産が困難。
・直売所の販売力・利便性の向上に向け、農産物等の集荷体制の検討が必要。
・商業施設まで15km以上あり、地域にコンビニ等が必要。

課題に対する対応方針

- ・地元猟友会との連携推進や地元住民の獣害に対する知識を深めるとともに防護柵の効果的な設置を検討。
・農用地の各種情報収集。
・スマート農機具の導入や農地の粗放管理の実施を検討。

- ・大学や地元企業等との加工・開発・販売について連携。
・直売所の販売力向上及びスマートストアやインターネット販売を検討。
・ショウガの契約栽培実証を検討。
・小麦栽培を実証。

- ・大学との連携など多様な主体の参画を募り、調理場の拡張を進める。
・デマンド交通の貨客混載による農産物等の集荷体制を検討する。
・小規模なコンビニや道の駅など、実現可能な小売店舗の形態を検討。

目指す方向性(将来ビジョンより)

- ・鳥獣害対策の強化。
・中山間直接支払対象農地の拡大。
・耕作放棄地の発生抑制及び解消。

- ・特産品の継続的な生産販売。
・特産品を安定的に販売する販路の確保。
・ショウガの契約栽培農家を増やし、住民の所得を向上。
・観光地化を推進。

- ・地域内への弁当販売を継続。
・立寄処の利便性を向上させ、地域の生活の質を高めるとともに交流の場とする。
・無人キャッシュレスストアを多店の展開し、各団体と協力運営し、黒字化する。

推しポイント 一番大事なのは、地域住民が「生活が楽しい」と実感できること。地域が一体となって、「生き甲斐」と「幸福感」を実現する為、地域住民のクリエイティブ(創造)を否定すること無く実現していきます。



全体プロセス (取組実績とその効果)

吉縁起村協議会 (岡山県真庭市)

1年目(令和4年度)

取組の総括

- ・地域住民によるワークショップを開催し、将来ビジョンを策定。移住者の確保と地域内経済の活性化、農地保全など、暮らしやすい地域づくりのための事業計画を定めた。

農用地保全

- ・遊休農地の現状や課題、今後の活用に係る希望等についてヒアリングやアンケートを実施し、農用地保全のビジョンを策定。
⇒耕作放棄地を再生させ特産品栽培実証を行う為の、農作業機械の進上路を整備した。



地域資源活用

- ・特産品開発に向けた検討、商標の取得やオリジナル米袋の制作、販売用ホームページの基本デザインを検討。
⇒スイオウ茶及びクッキーの試作と試験販売や、地域産米の内需拡大につなげた。



生活支援

- ・農産物の出荷困難者に対する集荷システム検討と直売所(立寄処)販売力向上の検討。
⇒オリジナル弁当や地元内外の野菜の試験販売、コンビニや道の駅誘致などの可能性を議論することで、地域住民の意識を高めた。



2年目(令和5年度)

- ・地域将来ビジョンの目標達成のため、農地の再生、特産品の開発、スマートストアの運用を開始。また、GISデジタルマップによる地域管理構想の策定にも着手した。

- ・耕作放棄地再生に必要な重機の進上路確保と、ラジコン草刈り機による省力化の実証。GISマップを用いた地域管理構想の検討。
⇒地域住民(子供含む)や大学生らが協力し、デジタルマップを作製することができた。



- ・地域米「大吉米」、スイオウを用いた「スイオウ茶」、インディカ米「プリンセスサリー」の商品開発と販売実証を開始。
⇒美作大学と連携し、製品の成分分析や製品開発の実証、試食イベント等を開催できた。



- ・生活利便性向上のための、無人キャッシュレスストア「スマート吉縁起村」をOPEN。
⇒地域生活の質を向上させるため、地元企業等と連携し、地域が必要とする生活用品や地域特産品の24時間販売実証を開始できた。



3年目(令和6年度)

- ・地域将来ビジョンの目標達成に向けた各種の取組のほか、GISデジタルマップによる地域管理構想(持続可能な地域の管理運営方法)を策定した。

- ・サル対策のための複合柵の設置。粗放管理を主とした地域管理構想の策定。
⇒地域管理構想により粗放管理の検討を始めた。また、ショウガの栽培実証に成功した。



- ・「スイオウ」について、お茶・ようかん・ジェラートの製品開発に成功。「プリンセスサリー」「ショウガ」については、生産から販売までを実証。
⇒製品化が完成し、販売まで実施できた。



- ・生活利便性向上のための無人キャッシュレスストアを市内市街地3カ所にOPEN。
⇒岡山県立大学・勝山高校と連携し、市内4カ所での販売実証を開始できた。また、ストアで販売する特産品を決定した。



# 「ディスカバー農山漁村の宝」について



「ディスカバー農山漁村の宝」とは、自立した「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことによる地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信するとともに、普遍化を図る取組

## ■ 平成26年度の開始以来、345件を選定

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	計
	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	
選定件数	23	27	30	31	32	36	32	38	37	29	30	345

## ■ 受賞体系

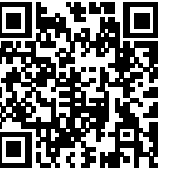
第6回から個人部門を選定。第8回から委員ごとの特別賞を新設するなど、新たな選定方針により実施。



## ■ 有識者懇談会により選定地区を決定

### 有識者懇談会委員

- |           |                                 |
|-----------|---------------------------------|
| あん・まくどなご  | 上智大学アイソトプナノテクノロジー研究所 所長         |
| 今村 司      | 札幌テレビ放送株式会社 取締役副社長              |
| 織作 峰子     | 大阪芸術大学教授、写真家                    |
| 田中 里沙     | 事業構想大学院大学 学長                    |
| 永島 敏行     | 俳優、(有)青空市場 代表取締役                |
| 林 良博 (座長) | 国立科学博物館顧問、東京大学名誉教授              |
| 藤井 大介     | (株)大田原ツーリズム 代表取締役社長             |
| 三國 清三     | (株)ソシエテミック 代表取締役                |
| 向笠 千恵子    | フードジャーナリスト、食文化研究者<br>(五十音順、敬称略) |



「ディスカバー農山漁村の宝」特設ホームページはこちら

## ■ 選定証授与式、交流会の開催



## ■ 活性化の工夫や課題解決方法などを情報発信



## 「ディスカバー農山漁村の宝」(第12回選定) 選定地区一覧

**九州・沖縄**

- 【林業、地産地消、環境保全】 **優秀賞** No.28 長崎県 彼杵町 彼杵おもしろ河川団
- 【水産業、企業との連携、地産地消】 No.29 鹿児島県 鹿児島市 かこしま深海魚研究会
- 【6次産業化、雇用、農福連携】 **特別賞** No.30 沖縄県 糸満市 株式会社日本バイオテック

**中国**

- 【環境保全、農福連携、食育・教育】 **優秀賞** No.22 鳥取県 琴浦町 大山乳業農業協同組合
- 【企業との連携、農業、環境保全】 No.23 鳥取県 八頭町 下町水土里会
- 【伝統の継承、農業、教育機関との連携】 **特別賞** No.24 山口県 山口市 株式会社あぐりてらす阿知須

**北陸**

- 【農業、農福連携、農村環境・景観保全】 **特別賞** No.13 新潟県 阿賀野市 八米 (HACHIBEI)
- 【林業、復興、関係人口の創出】 No.14 石川県 金沢市 フルタニランバー株式会社
- 【ジビエ、鳥獣害防止、食育・教育】 No.15 石川県 能美市 福岡 富士子
- 【農泊、農村文化体験、農村環境・景観保全】 No.16 福井県 福井市 伊自良の里・食と農推進協議会

**北海道**

- 【水産業、6次産業化、企業との連携】 **グランプリ** No.01 北海道 函館市 一般社団法人Local Revolution
- 【地産地消、食育・教育、高齢者の活躍】 No.02 北海道 登別市 特定非営利活動法人ゆめみ〜る

**東北**

- 【農業、6次産業化、関係人口の創出】 No.03 青森県 平川市 水口 清人
- 【農業、伝統の継承、農福連携】 **特別賞** No.04 岩手県 滝沢市 株式会社スタディア

**関東**

- 【農業、6次産業化、女性の活躍】 **優秀賞** No.09 茨城県 鉦田市 深作 勝己
- 【農村文化体験、農村環境・景観保全、関係人口の創出】 No.10 栃木県 宇都宮市 大谷グリーンツーリズム推進協議会
- 【移住・定住、多様な分野(スポーツ)との連携】 No.11 千葉県 大多喜町 esDGz OTAKI, EXE
- 【水産業、地域のスマート化、関係人口の創出】 **優秀賞** No.12 静岡県 西伊豆町 株式会社ウミゴ

**近畿**

- 【6次産業化、移住・定住、関係人口の創出】 **特別賞** No.19 滋賀県 東近江市 NPO法人愛のまちエコ倶楽部
- 【学生・若者の活躍、農業、食育・教育】 **特別賞** No.20 兵庫県 姫路市 東洋大学附属姫路高等学校 地域活性部PROJECT TOYO
- 【企業との連携、農村文化体験、農村環境・景観保全】 No.21 奈良県 橿原市 十市町地域保全向上活動組織

**四国**

- 【農泊、農村文化体験、関係人口の創出】 **特別賞** No.25 徳島県 美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町 一般社団法人そらの郷
- 【6次産業化、教育機関との連携、食育・教育】 No.26 香川県 東かがわ市 三高みんなの食堂プロジェクト
- 【農業、6次産業化、企業との連携】 No.27 高知県 南国市 高知農業高等学校 畜産総合科3年 加工班

**北海道**

- 【環境保全、農村環境・景観保全】 **特別賞** No.05 宮城県 名取市 宮城県農業高等学校 農業科作物部門
- 【地産地消、環境保全、農福連携】 No.06 宮城県 富谷市 特定非営利活動法人SCR
- 【6次産業化、企業との連携、関係人口の創出】 No.07 山形県 山形市 紅花推進協議会
- 【スマート農林水産業、環境保全、食育・教育】 **特別賞** No.08 山形県 鶴岡市・三川町・酒田市 庄内赤川土地改良区

**東海**

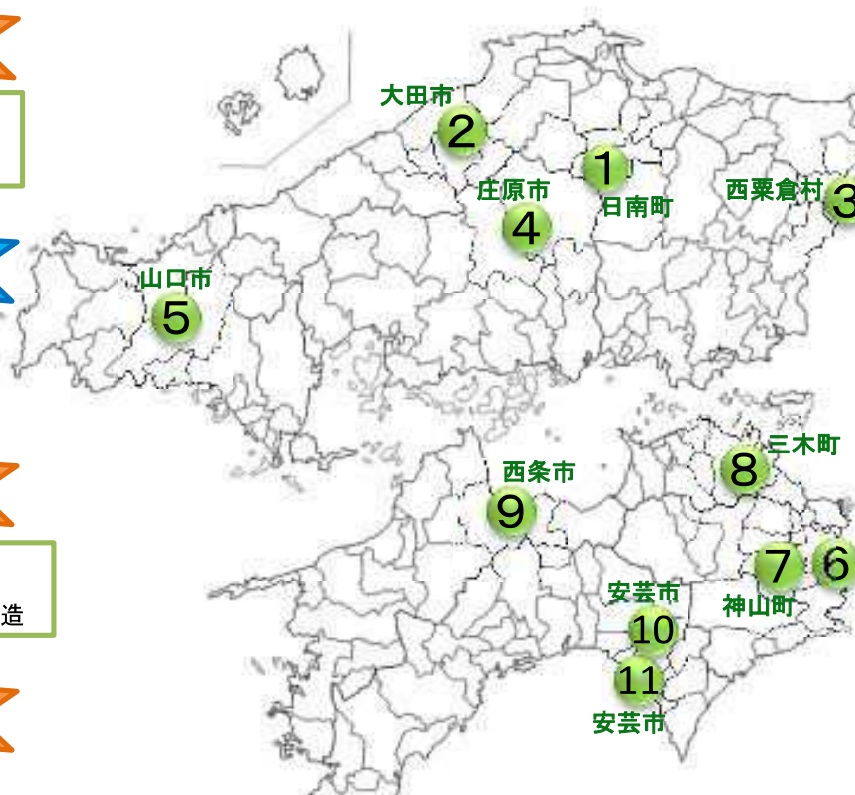
- 【水産業、伝統の継承、女性の活躍】 **優秀賞** No.17 三重県 鳥羽市・志摩市 海女振興協議会
- 【6次産業化、学生・若者の活躍、関係人口の創出】 No.18 三重県 明和町 「神都の折り」産学官連携日本酒プロジェクト

**計: 30地区**

■「ビジネス・イノベーション部門」  
■「コミュニティ・地産地消部門」  
■「個人部門」



# 中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定団体等一覧(10団体及び1名)



**No.1 鳥取県日南町**  
白谷工房  
廃棄される木材に新たな価値を創造する

**No.2 島根県大田市**  
株式会社さんべ開発公社  
星空と日の出、山頂に向かう暗闇の空中散歩

**No.3 岡山県西粟倉村**  
大茅地区活性化協議会  
地域に誇りを持ちいきいきと暮らそう

**No.4 広島県庄原市**  
広島県立庄原実業高等学校  
輸出リスクを減らせ！「GAP認証ナシ酢」の製造

**No.5 山口県山口市**  
株式会社ときつ養蜂園  
ミツバチが導く、無農薬の食と未来

**No.6 徳島県小松島市**  
徳島県立小松島西高等学校  
TOKUSHIMA雪花菜工房  
藻場の再生で広がるネットワークとその探究活動について

**No.7 徳島県神山町**  
徳島県立城西高等学校神山校  
「まめのくぼ」プロジェクトチーム  
高校生が挑戦 まめのくぼの再生プロジェクト

**No.8 香川県三木町**  
岸田 智子  
人・馬・農地をつなぐ“Restart with Legacy”

**No.9 愛媛県西条市**  
NPO法人うちぬき21プロジェクト  
千町棚田チーム  
つなぐ棚田遺産 ～千町棚田を後世に～

**No.10 高知県安芸市**  
有限会社はたやま夢楽  
人口20人の限界集落に年間1,700人を呼ぶ  
土佐ジロー

**No.11 高知県安芸市**  
安芸「釜あげちりめん井」楽会  
じゃこ食文化で郷土愛を育むじゃこ！！

# 中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」地方奨励賞選定団体等一覧(28団体及び3名)

**No.1 鳥取県鳥取市**  
株式会社タシマボーリング  
井戸掘り技術とマサバで水産未来と地域活性掘り起こす！

**No.2 鳥取県智頭町**  
特定非営利活動法人自然体験まるたんぽう  
人と森をつなぐ

**No.3 鳥取県江府町**  
農事組合法人宮市  
地域の農地は地域で守る。

**No.4 島根県松江市**  
株式会社Mitsu Fisherman's Factory  
漁村の未来、獲る創る売る新しい漁師像へ

**No.5 島根県海士町**  
一般社団法人海士町観光協会 島食の寺子屋  
「その日を形にする」和食料理人学校が離島で地産地消

**No.6 岡山県新見市**  
草間カルスト里山の会  
くらしやすい里、ささえ合う里、まごころ豊かな里、草間

**No.7 岡山県美作市**  
FARM RESORT あわのわ  
岡山のでっぺんで里山の休日を自由自に楽しむ

**No.8 岡山県矢掛町**  
山部 美由紀  
干柿の可能性は無限大！～地域の伝統の味を未来へ～

**No.9 広島県広島市**  
株式会社 中矢建設  
白木ジビエセンター ももんしゃ  
いのちのわ

**No.10 広島県福山市**  
GooHats  
大学生が伝える、おいしい推し農家の話

**No.11 山口県山口市**  
八方原の環境を守る会  
広報誌『やかたばら環境通信』で広がる共同の輪

**No.12 山口県周南市**  
「鹿野の風」プロジェクト  
木漏れ日計画が里山に新たな価値と奇跡を生む

**No.13 山口県周南市**  
大道理地区百笑倶楽部  
行ってみたい！住んで良かった芝桜の里。

**No.14 山口県周南市**  
HOVICHA  
見捨てられた土地が、癒しの源に変わる。  
草をもう一度、宝に

**No.15 徳島県鳴門市**  
株式会社大塚製薬工場 総務部 社員食堂  
捨てられる「もったいない」を宝に。製薬会社が挑む、  
徳島発社員食堂の食と健康の循環モデル

**No.16 徳島県鳴門市**  
JA徳島県徳島北女性部  
お母さんたちの手作りれんこん茶で美と健康を

**No.17 徳島県阿南市**  
緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクト  
チーム&刈草バイオマス工房・みらい  
考えよう未来の地球のために私たちができることを！

**No.18 徳島県吉野川市**  
徳島県立吉野川高等学校  
鳴門ワカメ、廃棄から再生へ～地球と環境をつなぐ  
新資源～

**No.19 徳島県三好市**  
井川茜保存会「茜の杜」  
茜でつながる地域の輪

**No.20 徳島県勝浦町・上勝町**  
石川 美緒  
山間の恵みをつかったジェラートで、地域の  
文化を未来へ紡ぐ

**凡例** 団体部門 個人部門

**No.21 徳島県那賀町**  
徳島県立那賀高等学校 地域探求同好会  
地域をつなぐ小さな力 ～内発的発展力を高めるために～

**No.22 香川県高松市**  
香川大学 Bonsai☆Girls Project  
若者と高松盆栽を繋ぐ架け橋に！

**No.23 香川県三豊市**  
麻環境保全会  
子供たちの笑顔あふれる農村づくり

**No.24 愛媛県松山市**  
公益社団法人松山市シルバー人材センター  
幸せになろう、農とつながる第二の人生

**No.25 愛媛県松山市**  
HAPP  
(Hojo Agriculture Professional Production)  
挑戦者～畑に希望を蒔いた者たち～

**No.26 愛媛県大洲市**  
愛媛県立大洲農業高等学校  
「パシヨウ×Re.Design」  
～地域資源を再構築する農業と文化の挑戦～

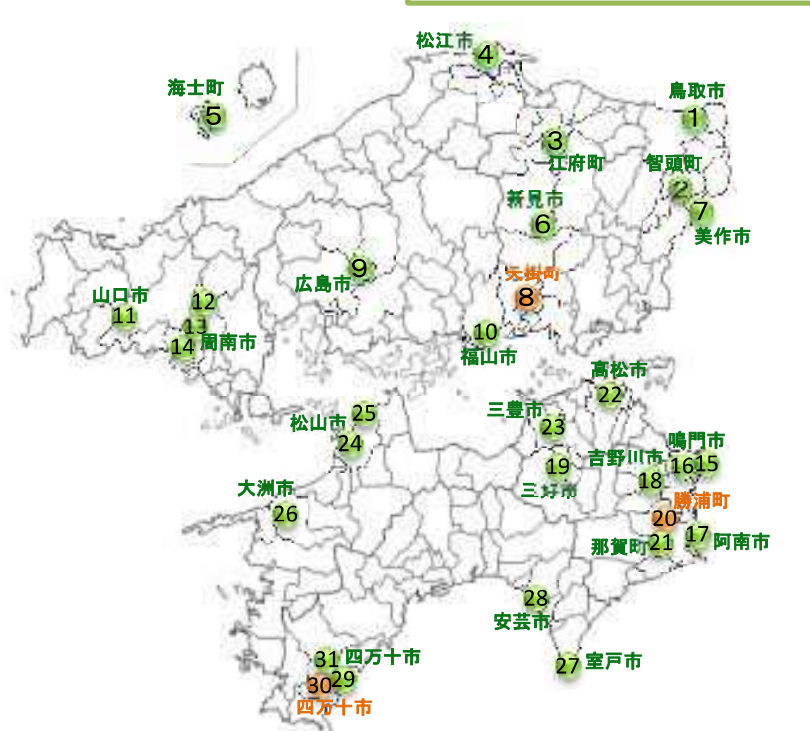
**No.27 高知県室戸市**  
高知県立室戸高等学校  
目指せ！ふるさとの未来を創るグローバルプレイヤー

**No.28 高知県安芸市**  
安芸市農福連携研究会  
全ての人が生きがいを持って自分らしく生活できる

**No.29 高知県四万十市**  
高知県立幡多農業高等学校  
幡多っ子食育プロジェクト～食で育む地元愛～

**No.30 高知県四万十市**  
山本 美加  
農業に未来を 若者に農業を

**No.31 高知県四万十市**  
りん  
人と自然との調和～ここから繋がる笑顔の輪～



# 農業・農村の有する多面的機能

農業・農村には、野菜などの生産の場としての役割だけではなく、私たちの生活に色々な『めぐみ』をもたらす働きがあります。このめぐみを「農業・農村の有する多面的機能」と呼んでいます。

農村の景観を保全する機能

有機物を分解する機能

癒しや安らぎをもたらす機能

暑さをやわらげる機能

土砂崩れを防ぐ機能

文化を伝承する機能

洪水を防ぐ機能

川の流れを安定させる機能

体験学習と教育の機能

土の流出を防ぐ機能

地下水をつくる機能

生きもののすみかになる機能



# 中国四国地域の農業遺産認定地域

○中国四国地域では、現在4地域が世界農業遺産、日本農業遺産の認定を受けています。

## 世界農業遺産・日本農業遺産 奥出雲地域（島根県）

「たたら製鉄を再適用した奥出雲地域の持続可能な水管理及び農林畜産システム」



たたら製鉄の原料である砂鉄を採掘するため山々を切り崩し、**採掘に導いた水路やため池を再利用**し、その跡地に広大な棚田が築かれた。また、和牛の飼養管理で得た牛ふん堆肥を水田に施用した米づくりが代々受け継がれている。

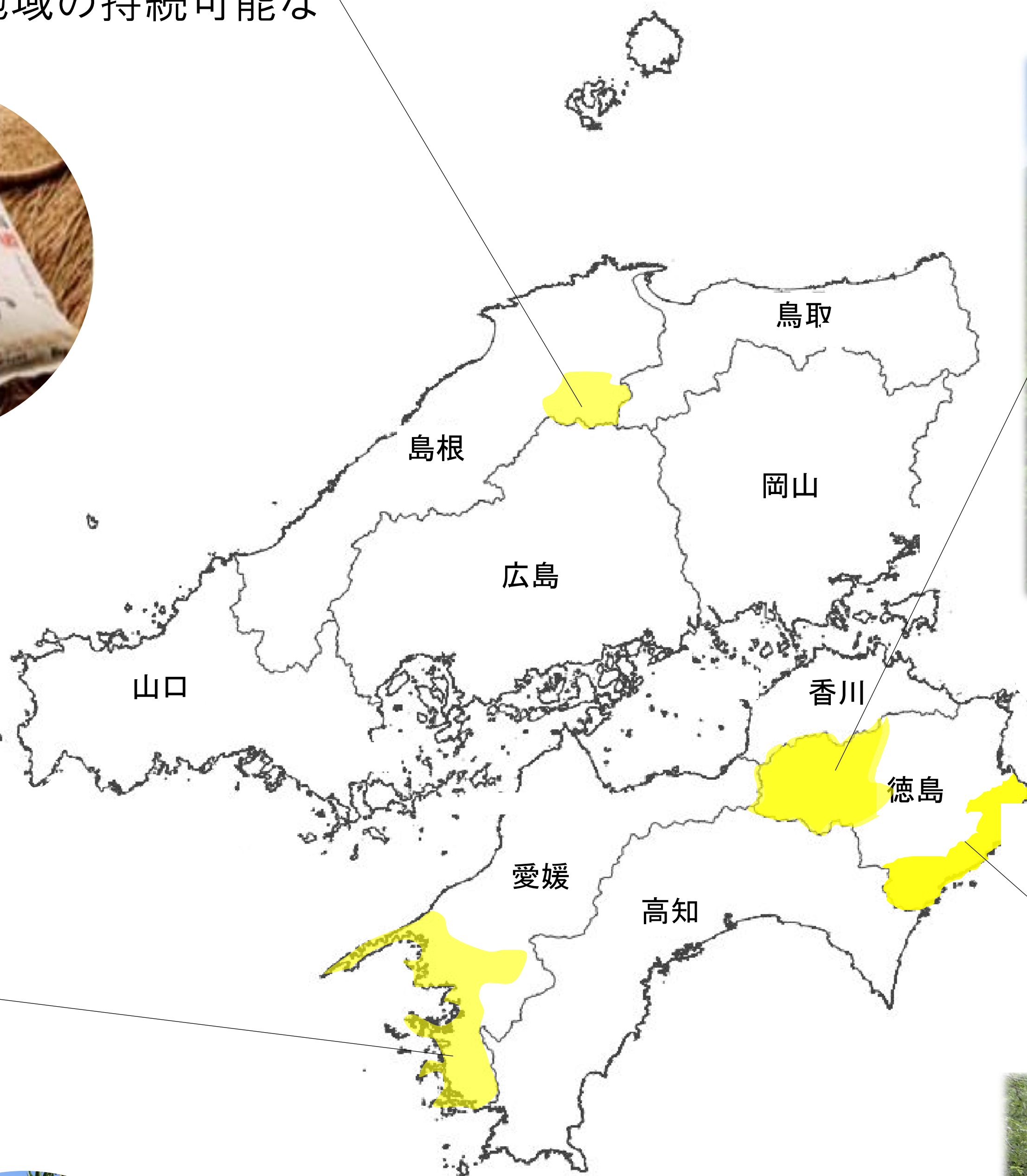


## 日本農業遺産 南予地域（愛媛県）

「愛媛・南予の柑橘農業システム」



漁業で移り住んだ先人達がりアス海岸の厳しい立地に開拓した広大な段畑は、太陽と海の恵みを受けて、国内有数の柑橘生産地域へと成長。**生物多様性に富むランドスケープ、シースケープが継承されている。**



## 世界農業遺産・日本農業遺産 にし阿波地域（徳島県）

「にし阿波の傾斜地農耕システム」



条件厳しい山間地で、段々畑のような水平面を形成せず、敷き草（カヤ）をすき込み土の流出を最小限に抑え、**傾斜地のまま農耕**し雑穀や伝統野菜、山菜、果樹が栽培されている。



## 日本農業遺産 県南地域（徳島県）

「みなみ阿波の樵木林業システム」



択伐矮林更新法という樹種を問わず**特定の太さ以上の木のみを伐採する技術**を継承する「**樵木林業**」により、薪炭や菌床用原木等の生産を行いながら、照葉樹林の維持や生態系の保全、土砂災害の防止等に貢献している。



# 多面的機能支払は 地域の共同活動を支援します！

農業・農村は、食料の生産だけでなく、洪水や土砂崩れを防いだり、美しい景観や伝統文化を守るなど、私たちの生活に色々な「めぐみ（多面的機能）」をもたらしています。本制度は、こうした農業・農村の多面的機能が適切に発揮されるよう、地域の共同活動を支援しています。

## 農地維持支払

担い手に集中する地域資源（農地、水路、農道等）の保管理を地域で支え、農地集積を後押しする活動を支援

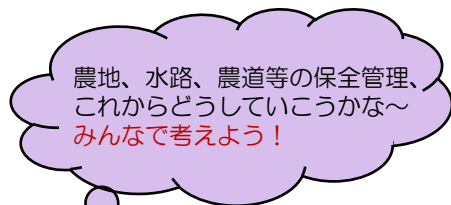
### 【支援対象(一例)】



農地、農道法面の草刈り



水路の泥上げ



○ 農地維持支払

円/10㍍

田	3,000
畑	2,000
草地	250

※注

活動期間中に作成

地域資源保  
管理構想

## 資源向上支払

地域資源の質的向上を図る共同活動又は施設の長寿命化のための活動を支援

### 【支援対象(一例)】 ○ 共同活動



施設の軽微な補修

### ○ 長寿命化のための活動



植栽活動



田んぼダム・みどり加算の取組

○ 共同活動

○ 長寿命化のための活動

円/10㍍

田	2,400
畑	1,440
草地	240

※注

円/10㍍

田	4,400
畑	2,000
草地	400

※注



農道の舗装

### 多面的機能支払交付金のロゴマーク

中央の多面体は農業・農村の有する多面的機能、それを囲む両手は、地域の共同活動の手でそれを守っている様子を表現しています。

そして、多面体の各色、は農地・水の情景を表しています。



高めよう 地域協働の力！

【※注】本紙に掲載している交付単価は、基本となる交付単価です。組織の認定農用地面積や活動内容などにより、交付単価が異なる場合があります。本制度の詳細については、お近くの市町村担当窓口にご相談ください。

多面的機能支払の活動内容などの紹介についてはこちら！

## 多面的機能支払メールマガジン

# 農村ふるさと保全通信

多面的機能支払の先進活動組織やリーダーの紹介、制度情報など、活動組織等の皆様にとって有益となる情報を配信しています。

### 【配信申し込み】

配信を希望される方は、農林水産省が発行しているメールマガジンの新規配信登録の入力フォームからご登録ください。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/reg.html>

### 【農村ふるさと保全通信への投稿】

皆様の活動組織の紹介など、メールマガジンの原稿を随時、受付しています。

以下のアドレスにお送りください。

[tamen\\_ml@maff.go.jp](mailto:tamen_ml@maff.go.jp)

バックナンバーは  
QRコードからもご覧  
いただけます



ご登録を  
お願いします！



Facebookもチェック



農村振興局Facebookでは農業・農村振興施策や地域の取組などを写真や動画とともにお届けしています！

<https://www.facebook.com/nouson.maff/>



農林水産省  
農村振興局



いいね！  
してね！



## 「多面的機能支払交付金の ロゴマーク」♪

高めよう 地域協働の力！



◇ ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どんどんご活用ください！！

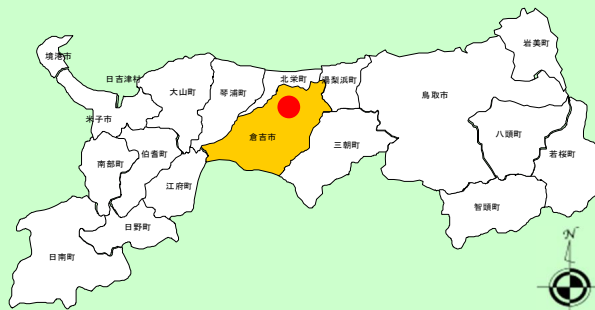
[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen\\_siharai-31.pdf](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf)

# 令和7年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 最優秀賞組織（鳥取県）

## 【多面的機能支払】

しおうじちくしげんほぜんかい くらよしし  
「四王寺地区資源保全会」（倉吉市）

- (1) 認定農用地面積：71.3ha  
（田：56.5ha、畑：14.8ha）
- (2) 組織構成：  
5集落（農家137戸、非農家23戸）  
開水路：28.8km、農道：12.8km  
ため池：8箇所



### 【組織の概要】

本組織は、倉吉市北部にある伯耆国庁跡近くの四王寺山を取り囲む5集落から構成され、天神川支流の国府川下流左岸域に位置する平地農業地域で、県営圃場整備事業が実施された農地では、水稻、大豆、倉吉市特産のスイカ、メロンなどの栽培が盛んです。

水利施設の老朽化、高齢化・後継者不足の進行により、四王寺土地改良区や地域の担い手である農事組合法人「四王寺営農組合」と連携し、大谷地区を中心に5集落及び非農家等を含む構成員が一体となり、平成27年度から活動を開始しました。

土地改良区が事務局を担い、スマート農業、カーボンクレジットなどの先進的な取組にも挑戦し、集落・関係団体と「絆」を深めながら活動を推進しています。

### 【主な取組内容】

- （農）営農組合と連携して、地域の子供たちと「アイガモ農法を取り入れた環境にやさしい農業体験学習」、「田んぼの生き物調査」、「親子で田植えイベント」、「みのりの秋感謝祭」などの食農体験学習を実施して、地域農業の理解醸成を図り、地域住民・消費者との交流を深めるなど、地域コミュニティの強化により地域力を高めています。
- スマート農業の取組として、ドローンによる農薬散布やGNSS制御による自動調整機能のある田植機を導入して農作業の軽労化・効率化を図るとともに、環境負荷低減活動として、減プラスチック肥料の活用、令和6年度からは長期中干しの実施によるカーボンクレジットに取り組み、生物多様性に配慮し地域農業の持続性を高めています。
- 令和3年の天神川流域の大雨被害を教訓に、令和6年度に排水調節機能のある堰板を自作し、令和7年度から水田の落水口に堰板を設置して、隣接下流域の浸水リスクを低減する「田んぼダム」に取り組むことで流域治水を推進しています。



地域の子供たちとの食農体験学習  
（郷土愛の醸成・農村コミュニティの強化）



スマート農業の導入  
（地域農業の持続性向上）



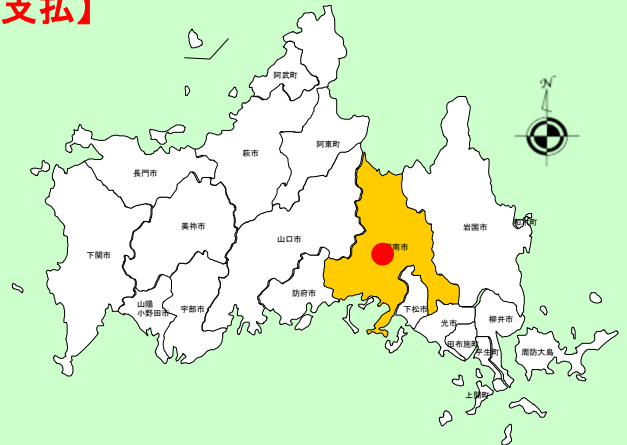
田んぼダムの取組（流域治水）

# 令和7年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 最優秀賞組織（山口県）

## 【多面的機能支払】

### 「ツルの郷を守る会」（周南市）

- (1) 認定農用地面積：143.7ha  
(田：141.2ha、畑：2.5ha)
- (2) 組織構成：  
13集落（農家115人、非農家74人）  
開水路：64km、パイプライン：9.4km  
農道：21km、ため池：4箇所



### 【組織の概要】

本組織は、周南市の東部に位置し、本州で唯一のナベヅルの越冬地として、特別天然記念物「八代のツルおよびその渡来地」に指定された中間農業地域で、水稻・麦・大豆の栽培が盛んです。栽培した特別栽培米は、「つるの里米」としてブランド化されています。

平成19年度から活動を開始して、近年、高齢化や参加者の減少に伴う担い手への負担増加が問題となっていたため、老若男女、移住者、地域外住民等の様々な立場の人材が集落を越えて参加して地域全体でカバーする「草刈り支援隊」を結成しています。

### 【主な取組内容】

- 共同活動という農業の基本を重視し、女性役員を登用して、農業者・非農業者が一体となった草刈りや泥上げなどの基礎的保全活動を行っています。令和6年度に高齢者では作業困難な法面等の草刈りを実施する「草刈り支援隊」を設置して毎月活動を行い、「草刈り支援隊ニュース」を発行して、ライン等で活動内容を共有しています。
- ナベヅルとの共生を目指して、事務局の農事組合法人「ファームつるの里」と連携し、ナベヅルが飛来する時期に一切工事を行わないことや、刈草の堆肥化、有機農業、化学肥料・化学合成農薬の5割低減、餌場の創出のため冬期湛水に取り組むなど、ナベヅルの生態に配慮した次世代に繋がる資源循環・環境保全型の活動を行っています。
- 地域の小学校と連携し、「水辺の教室」を毎年開催しています。地域外の子供も参加して交流の場になっており、生き物調査や水質モニタリングにより、取組の効果（生物多様性保全）が発揮されていることを確認しています。



草刈り支援隊と飛来したナベヅル



小学校と連携した水辺の教室



草刈り支援隊ニュース

# 活動事例 1

- 学校や他団体と連携した農作業体験  
(愛媛県大洲市：榎谷地域資源保全会)



# 活動事例 2

- ・長寿命化工事の直営施工  
(香川県小豆郡小豆島町：中山地域活動組織)



# 活動事例 3

- 農地維持活動の草刈り  
(愛媛県西予市宇和町：杵所資源保全班)

